

---

## Time Travel -**未来の私たち**-

Apple Of My Eye

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Time Travel - 未来の私たち -

### 【Nコード】

N3951M

### 【作者名】

Apple Of My Eye

### 【あらすじ】

新一たちのもとへ未来の自分の子供がやってきたあ！？しかも服部たちの子供までー！？  
さ、ちっさい名探偵、どうするか？

## C h p t 1

「灰原、薬まだー、つつうか何の研究？」

「私。言ったわよね。薬はまだできないって。タイムマシン作ってるわ。後15年くらいで完成して、今に戻って薬あげるわ。」

ドドドーン

突然大きな音がした。

「げっ！！まじ、で。。？」

「あらはやかっただわ」哀はつぶやいた。

「なんやねん？ここ？優一分かるか？」

「志保がタイムマシンでやっただよ、きつと。」呆れ気味に呟いた。

「お前誰？」

「新一と和葉ちゃんににてるー」

「ら、らん！？」

すると和葉ににてる少女が言った

「あたいは、かずはじゃあらへん。かずははうちの母ちゃんや。あたいはしずはだ」

「服部と遠山さんの子！？」

「せや。自分は優一のおやじハンやろ？」

「こいつ、俺の息子！？」

新一は密かに嬉しがっていた。母は蘭だったりしてー何て思いながら。。

「母さん？」優一は蘭に向かって言った。

「わ、私？」

「ああ。親父と今も未来もラブラブだしな。。つつうか親父がちっさくなつたのって本当か。」

丁度志保がタイムマシンから戻ってきた。

「あつたわ。薬、そして。。ウフフ」

「??」

「何でも。」

「まさか、おまえ宮野?このやるお」

優一は志保を殴ろうとした。するとしずはが、

「この時代で苛めたから実験台にされたんや、きつとな。」

「ギクツ!」急いで志保をはなした。

「もう遅いわよ。」と冷たく言って志保は出て行った。

「俺と蘭の子供。」

「/ / / / /」2人そろって真っ赤だった。

「じゃあ、優一、お買い物行こう!もちろん、新一のふりで」

「ああああ、か、母さん。」優一は連れだされた。

「じゃあ俺らは留守番だな。」

「せやな。」

## C h p t 2

「静葉ちゃん。」2人残された部屋で、新一はつぶやいた。

「ちゃんはやめてーな、気色わるーてしゃーないわ」

「あ、ああ。お前さ、優一のこと、好き、だろ？」

すると静葉は真っ赤になってうつむいた。その姿は平次のことからかわれて照れる和葉にそっくりだった。

「。。せ、せやけど、優一は多分、あたしらの9歳年上のおねーさんが好きなんや。。いつも2人目あったら、優一赤うのうてな。。」

「新一はびっくりして聞いた、

「おねーさんって、まさか。。歩美ちゃん?!」

「せや」

「なるほど。。」

「で本当に誰かに相談したくて・・あたい、海生<sup>みお</sup>にいっぱい相談して。。」

「海生ってまさか。」

「京極海生」

「やつぱり。。」

「。。。そのころ優一と蘭は。。。」

「優一、好きな子いる？」

「いるけど。。」

「静葉ちゃん？」

優一は赤くなつてそっぽを向いた。

「凶星ね。」

「ふん！でもあいつは多分、園子おばさんとこの海生といつもしゃべって赤くなつて。。で、俺が静葉を見ているところを歩美おねーさんに見られて、事情を説明したら何か相談とかにのってくれたし・・」

「ふうーん・・私は静葉ちゃん、優一が好きだと思っわよ?」

「へ？」

「静葉ちゃんは、和葉ちゃんが服部君を見ているときと同じ顔して優一  
一見てるもん」

「んな分けねーだろ。。」

「へへ、照れちゃって」

「バ、バーロー・それより、もう帰ろうぜ母さん」

「愛しの静葉に会いたいの？」

「そう言う母さんも父さんに会いたいんでしょ？」

「新一とは幼馴染だよ！！」

「^^；2人の間で生まれた息子にそんなこと言って信じてもらえる  
るかあ？」

蘭は真っ赤になった。

「さあ、帰ろう帰ろう」

「

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3951m/>

---

Time Travel -未来の私たち-

2010年10月11日00時20分発行